

## 新球場の整備コンセプト

「親しみやすく、みんなで育てていく球場」

### ○ 利用しやすく親しみが持てる球場へ

市民が競技力を伸ばし、発揮する場となる大会等の開催やトップレベルの競技が観戦できる場にするともに、競技者が利用しやすい配置とし、ウォーミングアップなどが行いやすい周辺環境の整備を行います。

### ○ 本市初の本格的な球場へ

屋外体育施設の建設指針（「公益財団法人協会 屋外体育施設部会編集」（平成29年改訂版））における「硬式野球公認野球場」を満たす規格（大きさ等）を基本とします。

### ○ すべての人にやさしい球場へ

競技者や観覧者など全ての利用者が、快適に利用していただけるよう総合的なバリアフリー化を図ります。

### ○ 運営・維持管理に配慮した球場へ

長期的な視点に立ち、効率的かつ経済的な運営・維持管理の方法を採用していきます。

## 新球場5つの“変わります！！”

- ①利用可能時間帯が変わります！！  
：ナイター照明設置で時間帯拡大
- ②競技の幅が変わります！！  
：硬式球も使用可能
- ③大会開催の規模が変わります！！  
：駐車場の拡張
- ④競技者の安全性が変わります！！  
：隣接グラウンドでウォーミングアップ可能  
：安全対策フェンス設置
- ⑤観戦する人の快適が変わります！！  
：観客席に屋根設置  
：福祉席を整備

## 規模及び機能

施設規模	レフト・ライト 98m、センター 122m	
想定機能	メインスタンド [1階諸室]	競技本部、記録室、放送室、事務室、 審判員控室、救護室、来賓室、更衣室、 報道・視察者控室、福祉席、会議室、用具室、 トイレ（多目的トイレ含）
	1階：約350㎡ 2階：約300㎡ 合計：約650㎡	
	ベンチ	
	バックスクリーン、スコアボード	
	ラバーフェンス、防球ネット（高さ想定15m、延長想定220m）	
	ナイター照明設備（照度：JIS Z 9127スポーツ照明基準）	
	ブルペン（投球練習場）	
	多目的グラウンド	
	旗掲揚ポール	
	車いす観覧スペース、スロープ	
	内野スタンド・外野スタンド	
	内野エリア：黒土、外野エリア：天然芝生	
	球場内補充用土置き場（雨天対応）	
	客席	メインスタンド2階（固定席（300～500席））、屋根付 内野スタンド・外野スタンド（両方盛土スタンドによる）
駐車場	120台程度（舗装面）	
その他	備品類（放送設備ほか）	
	倉庫	
	その他「屋外体育施設の建設指針」の基準によります。	

※施設の配置等詳細については、今後の設計においてすすめてまいります。

## 計画地

東川登町大字永野7859-18ほか



## 事業スケジュール

2022年(令和4年)天皇賜杯全国軟式野球大会、  
2023年国民スポーツ大会佐賀大会軟式野球競技の  
会場として利用できるよう、供用開始を目指すものとします。

令和元年度～令和2年度 基本設計及び実施設計  
令和2年度～令和3年度 本体工事  
令和4年度 周辺整備工事